



2022年10月14日

いわき市長 殿

いわき大王製紙株式会社  
代表取締役 奥山 裕

測定報告書  
(2022年8月度)

公害防止協定第11条第1項及び第2項の規定に基づき、環境に係る測定結果を報告します。

記

1. 水質測定結果
2. 大気測定結果
3. 排出した産業廃棄物の種類、量及び処分方法
4. 受入れ処理した産業廃棄物の種類、量および処分方法

安全環境室

山廻邊 庄造

Tel:0246-62-1111

1. 水質測定結果 (2022年8月度)

項目		測定日	測定値	協定値
排水量 (m <sup>3</sup> /日)		8 月 18 日	31,464	届出値 最大34,000 m <sup>3</sup> 通常34,000 m <sup>3</sup>
水温 (°C)	最終排水口	8 月 18 日	36	—
	沼部ポンプ場 放流水	8 月 18 日	24	—
	江栗大橋	8 月 18 日	24	—
水素イオン濃度		8 月 18 日	7.0	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量 (mg/l)		8 月 18 日	7.7	12
浮遊物質 (mg/l)		8 月 18 日	11	50
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )		8 月 18 日	140	排水基準 3,000

## 2. 大気測定結果

(2022年8月度)

施設名	2号焼却炉 (3号ボイラー)	
測定日	8 月 17 日	協定値
ばいじん濃度 (g/Nm <sup>3</sup> )	0.021	0.032
硫黄酸化物濃度 (K値)	0.13	0.60
窒素酸化物濃度 (ppm)	90	200

施設名	3号焼却炉 (4号ボイラー)	
測定日	8 月 26 日	協定値
ばいじん濃度 (g/Nm <sup>3</sup> )	0.019	0.032
硫黄酸化物濃度 (K値)	0.056	0.60
窒素酸化物濃度 (ppm)	39	200

3. 排出した産業廃棄物の種類、量及び処分方法 (2022年8月度)

廃棄物の種類	産業廃棄物の量(トン)	産業廃棄物の処分方法
汚泥(排水処理汚泥)	7,493	自社処分(焼却)
廃プラスチック類 紙くず	4,339	自社処分(焼却)
汚泥(排水処理汚泥)	0	自社処分(固形化)
廃プラスチック類 紙くず	437	自社処分(固形化)
ばいじん	1,016.9	委託処分(造粒固化)
	358.9	委託処分(造粒固化)
	1,011.5	委託処分(固形化)
	23.0	委託処分(造粒固化)
	12.8	委託処分(固形化)
	339.8	委託処分(造粒固化)
燃え殻	25.7	委託処分(還元焙焼・焼却)
汚泥	125.3	委託処分(造粒固化)
	69.6	委託処分(造粒固化)
	10.0	委託処分(埋立処分)
混合廃棄物	93.0	委託処分(埋立処分)
木屑	7.8	委託処分(破碎)

## 4. 受入れ処理した産業廃棄物の種類、量及び処分方法

(2022年8月度)

廃棄物の種類	産業廃棄物の量(トン)	産業廃棄物の処分方法
廃酸	3,608.4	中間処理(再利用)
シュレッターダスト	48.9	焼却
紙くず・廃プラスチック	17.5	焼却